

# エリート女子は上田藍が18位

## 2007ITU世界選手権ハンブルク大会速報2

### ポルトガルのバネッサ・フェルナンデスが初優勝

9月1(土)、2007ITU世界選手権ハンブルク大会の第2日、エリート女子のレースが行われた。

昨日と違って、ときおり晴れ間が見える天候。しかし、気温は20度を少し超えたところと肌寒い。水温も17度で変わらず、ウエットスーツは着用許可となった。

午後2時55分にスタート。スイムトップはサラ・マクラーティ(アメリカ)。サラ・ハスキンス(アメリカ)、ジョエル・フランツマン(ドイツ)と続く。

日本選手は、井出樹里(トーシン・日東紅茶・TEAM KEN 'S)の23位が最高位。

バイクに入ると、バネッサ・フェルナンデス(ポルトガル)とローラ・ベネット(アメリカ)がマクラーティ、ハスキンスらと第1集団をつくり、そのあとを小さな集団が8個ほどできる展開となる。

バイク中盤になると、集団もいくつかにまとまり、第1集団は17名に。第2集団には井出が入っていたが、単独落車を起こして関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、大松沙央里(トヨタ車体)のいる第4集団に後退。その前の第3集団には、今年前半好調の庭田清美(アシックス・ザバス)と上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)が入っていた。

ランに入ると、第1集団最後尾につけていたフェルナンデスが、2km走らないうちにトップを奪った。それを追うのはベネットとエマ・モフェット(オーストラリア)。しかし、1周回を終えて戻ってきたときには、フェルナンデスは後続に大きく差をつけていた。



スイムは1周目、2周目ともに橋をくぐる設定



大きな特設スタンドの前を、バイクに出て行く

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



# エリート女子は上田藍が18位

## 2007ITU世界選手権ハンブルク大会速報2

ランの周回を重ねるごとにフェルナンデスは世界選手権初優勝に向けて差を広げる。4周回を終えてフィニッシュしたときには、2位に1分4秒の差をつけていた。

2位には、バイク第3集団からランで追いついたエマ・スノーシル(オーストラリア)が入り、3位はベネットだった。

日本選手は、上田がランで追いついたが、18位となった。

フェルナンデスはレース後、「完璧なレースで優勝できて嬉しい。両親と自分の人生にこの勝利を捧げたい」と女王の貫禄を示した。

明日9月2日(日)は、世界選手権エリート男子とエイジグループのレースが行われる。

なお、この模様はフォトギャラリーでご覧になれます。



バイクで先頭に立つフェルナンデス

### 上田 藍

(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



スイムの上がった位置が悪くて、バイク・ランにつなげられなかった。このコースは、とてもスピードが出るコース。もう一つ前の集団で戦いたかった。ランの入りでの飛び出しが弱く、これも今後の課題。2週間後のITUワールドカップ北京大会では、表彰台を狙う。



初優勝のフェルナンデス



ランで追って2位のスノーシル

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

